

発行 社会福祉法人
福岡県社会福祉協議会
子育て支援事業推進室

〒816-0804

福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階

TEL 092-584-3785

FAX 092-584-3369

Email kosodate@fuku-shakyo.jp



子育てサロン ひよっこ(小郡市)で撮影

サロンに行こう

福岡県内では、子育て中のお母さん、地域のボランティアさん、民生委員児童委員さん、社会福祉協議会、行政などたくさんの方が子育てサロン活動に取り組まれています。

本号では、民生委員児童委員さんが取り組むサロンを紹介しています。「サロンを始めたきっかけは何ですか。」と尋ねると、「子育てに悩んでいるお母さんたちが、サロンに来て誰かに話を聞いてもらうことで元気になり『サロンに来てよかった。』と思ってもらいたいと、立ち上げました。」と話していただきました。

子育てサロンには親子を温かく見守り応援してくれるたくさんの人が待っています。子育てに悩んでいるお母さん、お父さん、勇気を出して、サロンに出掛けてみませんか。

(子育て支援事業推進室)

もくじ

- 民生委員児童委員さんが取り組む子育てサロン … 2
- 市町村社協子育て支援指定事業第2回連絡会議 … 3
- こども写真館 … 3
- 緊サポ NEWS(ありがとう) … 4



民生委員児童委員さんは、地域子どもたちが元気にすくすく育つことを願い、お母さんたちの子育ての不安、悩みの相談を受けたり、家庭訪問などをされています。

今回は、民生委員児童委員さんが地域で取り組まれている2つのサロンを紹介します。

さくらっこ (春日市)



お母さんが受付、司会進行、会場の準備、片付けをされていました。

さくらっこでは、子育て中の親子が月に1回地域の公民館に集まり、季節のイベントを実施したり、児童センターの保育士さんを呼んで手遊びや体を使った遊びなどをしています。

さくらっこは、桜ヶ丘地区の主任児童委員さんが立ち上げられました。お母さんたち主体のサロンにしたいという思いから、集まったお母さんたちへ「役員を決めて自分たちで活動してみない？」と声かけをされ、お母さんたちの中から役員を5名決めて活動し始めました。

今では、年間のスケジュール決め、児童センターの保育士さんを呼ぶときの連絡調整などお母さんたちが進んでされています。

主任児童委員さんは、地域のボランティアさんと一緒にお母さんたちの活動意欲を引き出しながら、役員さんから活動に関する悩みや相談を受けたときは話を聞き、アドバイスをしながら活動を応援されています。

ひよっこ (小都市)

ひよっこでは、月に2回地域の公民館に遊びに来た親子がおもちゃで遊んだり、おしゃべりをしながら楽しく過ごしています。

1年前に民生委員さんが、親子が交流できる場所を作りたいと思い、民生委員さんの活動をサポートする活動員さんに相談し、区長さんに働きかけました。サロン立ち上げの準備として、回覧板で地域のみなさんに使わなくなったおもちゃの寄付を呼びかけたところ、たくさんのおもちゃが集まったそうです。活動員さん、区長さん、地域の方の協力があり、スムーズに立ち上げが出来ました。

民生委員さんが中心で活動されていますが、お母さんたちがただ参加するだけにならないように心がけ、お茶の準備、おもちゃの片付けを一緒にされていました。



子どもたちはスタッフの方と遊び、お母さんたちは子どもと少し離れてリフレッシュ中。



自治会、社会福祉協議会、行政など様々な機関とつながりがある民生委員児童委員さんがサロンに関わることで、お母さんたちに幅広い情報を伝えることができます。また、会場を借りたり、周知活動を行うときなど地域のみなさんの協力が得やすくなります。

サロンへの関わり方は、今回紹介したサロンのように、お母さんたち主体のサロンを民生委員児童委員さんが後方から応援したり、中心となって活動されたりと様々です。

サロン活動に取り組んでいる民生委員児童委員さんは、子育て中の親が何に悩んでいるのか、どのような活動が求められているのか、お母さん、お父さんの声を聞き、他の機関とのつながりを活かしながら活動されています。支援の形に決まりはありません。子育て中のお母さん、お父さんのためにできることから始めてみましょう。

社会福祉協議会が地域の子育てを応援中！

福岡県社会福祉協議会では、2月25日(木)、クローバープラザ(春日市)において、市町村社会福祉協議会子育て支援指定事業 第2回連絡会議を開催しました。指定社協から14社協17名と子育て支援に熱心な社協やこれから子育て支援に取り組む社協からオブザーバーとして7社協8名、計25名の方に参加いただきました。

連絡会議では、4つのグループに分かれて、今年度の取り組み、活動の課題、情報交換を行いました。



情報交換の一部を紹介します!!

Q イベントや講座などはどんな風に決めていますか？

A お母さんたちの意見を取り入れながら決めています。着付け教室や美肌レッスンは、お母さんたちから出た意見でとても好評でした。

Q ボランティア養成講座を受講された方はその後の活動に結びついていますか？

A ボランティア養成講座を受けた後に、実際に活動する機会を設け、受講された方の意欲を高めながらその後の活動につなげています。



これから子育て支援に取り組む社協からは、「他の市町村社協の取り組みを聞き、子育て支援に社協も取り組む必要性を感じました。」との声が聞かれました。指定社協からも、「前髪カット講座*1やマネーセミナー*2など今まで知らなかった講座があり、参考にしたいと思います。」「チラシ作りも周知活動の1つとして大事なことが分かりました。」などの感想をいただきました。これからの活動がさらに充実していくことを期待しています。



※1 美容師さんを招いて子どもの前髪の上手な切り方を教えてもらう講座です。

※2 お小遣いを通して、親子で一緒にお金の大切さを学ぶ講座です。

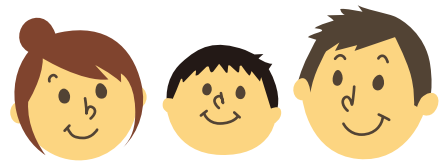


こども写真館



お外にでかけてみんなで春を見つけよう♪





ありがとう

福岡県社会福祉協議会では、お父さん、お母さんの仕事と子育ての両立を支援するため、**病児・緊急預かり対応基盤整備事業**に取り組んでいます。

この事業は、病気で集団保育になじまない子どもの預かりや急な残業・出張などでの宿泊を含む子どもの預かりなど、緊急時に対応するもので、大野城市・太宰府市・春日市・筑紫野市・那珂川町を対象地区としています。

本年度は、依頼会員登録会を7回、援助会員登録研修会を2回開催し、171名（依頼会員153名 援助会員15名 両方会員3名）の方が登録されました。

活動件数は2月末現在で53件（病児・病後児の預かり22件、宿泊1件、緊急時の預かり15件、送迎15件）でした。

援助会員さんには、当日の急な依頼も快く引き受けていただき、しっかりサポートしていただきました。みなさんのご協力で今年度も事故、トラブルなく活動できました。本当にありがとうございました。



会員登録会では、援助会員さんが託児スタッフとして大活躍！！子どもたちとたくさん遊んでいただきました。

現在の会員数 457人 (2月末日現在)

依頼会員348人 援助会員94人 両方会員15人

ふくおか緊急サポートセンター(本部)

福岡県社会福祉協議会 子育て支援事業推進室

TEL 092-584-3785 (担当 平本・大倉)



この情報誌は、共同募金の配分金を受けて発行しています。



大募集!

「ふくすく」に関するご意見・ご要望、子育てサロン等への取材依頼、子育てに関する様々なエピソードをお寄せください。皆さんの声をお待ちしています。

(子育て支援事業推進室)



冬の寒さも和らぎ、暖かくて過ごしやすい季節になりましたね。私は、花粉症と戦いながら毎日出かけています。

この時期、地域で開催されているサロンへ伺つと、代表・スタッフの

交代について話し合いをされていることが多くあります。子育てサロンは、子どもたちが保育園や小学校にあがるため参加者の入れ替わりが多く、代表・スタッフの交代もサロンの大きなイベントの一つとなっています。私もその話し合いを見学しながら皆さんがどのように交代をされているのか勉強させてもらっています。みんなでじゃんけんをして決めたり、前任代表の指名で決めたりと決め方はサロンによって様々で、どのサロンも工夫しながら決めていらっしゃると思います。一年間代表を務めた方にお話を伺つと、「代表に決まったときは何も分からず不安だらけでした。でも、一緒に準備をしてくれる人、相談ののってくれる人、周りのみんなの協力で活動ができました。一年間代表を務めて自分に自信ができました。これで保育園の役員を頼まれても大丈夫かな。」と笑顔で話してくださいました。新しく代表・スタッフになられたみなさん、一人で「負担」を抱えずに、みんなで「楽しみ」を感じながらサロン活動頑張ってくださいね。応援しています。

(らいつひ)